

脳内に知と情報のスパークを起こし、本当に望む人生を謳歌するために・・・

The Alchemy of Intelligence



(これはイメージ画像ですので、実際のパッケージは若干異なる感じになると思います。)

ども、こんにちは、木坂です。

いつになく無駄を省いて、まあいつも無駄はないつもりなのですが、今回は商品の説明にフォーカスして書くことにします。

ただし、無駄を省いてこのページ数かよ、というツッコミは受け付けません。

今回、ずーっと前に

「高校生でも無理なく参加できるようなサービスを考えている」

と言った、例のアレを公開します。

題して、

The Alchemy of Intelligence

です。

「知の錬金術」という訳になると思うのですが、僕の意図をより正確に反映させるなら、

「知識・情報の統合と創造」

という感じになります。

簡単に言えば、いろんなことを勉強して、そして単なるもの知り君になるだけで終わらずにそこから新しい知見を創造しましょうね、ということです。

イメージは、まさにデザインに反映されていますが、知のスパーク。

あらゆる知識・情報をスパークさせ、自由自在に新たな知を生み出していく。

そんなものをイメージしています。

そして早速具体的にどんなものか、という説明に入ってしまうかと思いますが、説明が少し長くなるかもしれません。

にもかかわらずわかりにくかったらご容赦を。

「右肩上がり」ということ。

早いもので、僕も客商売を始めて8年、自分でビジネスを始めて7年になります。

その短いようで長い期間、クライアントにもスタッフにも恵まれ、数え切れないほどの小さな問題は起こったとはいえ、ある意味で大きな問題は起こらずにここまでこれたことが、一般的には奇跡に近いことなのだと、今更ながらに実感しています。

3年目に問題が起こるとか、5年目に大きな裏切りがあるとか、なんかいろいろなジंकスが这个世界にはあるのですが、そういったものは何もなかったな、と。

自分でも不思議なくらい、売上ももちろん提供しているサービスなどのクオリティも、右肩上がりですごくうまくいっている。

実を言うと、最近僕は「数字」というものにこだわらなくなりました。

売上、利益率、コスト、反応率、顧客獲得単価、LTV、リピート率・・・起業家として、ビジネスオーナーとして、経営者として、マーケッターとして、あらゆる数字には非常にシビアでなくてはならず、常にその向上を目指して活動すべきである。

一般にはそう言われますし、僕自身そうやってきて、なおかつクライアントにもそう言ってきました。

感覚や雰囲気だけでビジネスを捉えてはいけない、と。

もちろんそういう面は当然ですし、僕自身毎月一回は必ず担当の税理士の人から財務状況を報告されています。

しかし同時に、数字を気にしなくなりました。

把握はするけど、気にはしない、という感じが適切な言い方かもしれません。

代わりに何を気にしだしたか、たとえば、それは簡単で、

「楽しいかどうか」

に尽きます。

「ビジネスは趣味とは違うんだよ！」という意見があるのはもちろん理解していますが、そう言ったことを考えてしまうつまらない人のために少し高尚な言い方に変えておきましょう。

「やり甲斐を感じるかどうか。」

これが、今の僕が「やるかやらないか」を決める唯一の指標と言ってもいいものです。

「そんないい加減な・・・理想だけで飯が食えたら苦労はしないんだ・・・」という反論に対しては、決して数字を無視しているわけではないということを再度強調しておきたいのですが、そんなことよりも今知っておいてほしいことがあります。

僕自身、とても不思議に感じたことなのですが、数字に興味がなくなり、やり甲斐ばかりを追いかけ、楽しいと思うことだけをやり始めたにもかかわらず、

「以前と変わらず数字も右肩上がりを継続している」

ということです。

数字を気にしなくなったので、多少財務状況は悪くなるかな、まあそれでも別にいいか、と思っていたのですが、実際毎月の報告を見ていると、前年よりも良くなっている。

また同時に、個人的に提供しているコンテンツのクオリティも上がっているなど実感できている。

忙しくはなっているけれど、精神的な「苦しさ」は減っている。

つまり、数字の面も気持ちの面も、どんどん良くなっている、ということです。

景気や時代、ブームや市場に関係なく、です。

はじめのうちは、「いや、不思議なこともあるもんだ、俺は恵まれているなあ」などと感心したりもしていました。

が、実はそれが不思議でもなんでもないことなんだ、と思えるようになったのは本当にごく最近のことです。

つまりその背後には、明確な「理由」やそこへ至る「方法」があるということがわかったのですが、それらのことを含めて、この教材の中では伝えていければなと思っています。

Intelligence-Power-Money-Passion-Happy-Success.

いきなり何のことかと思ったかもしれませんが、これは僕が今回の企画で思い描いている連想ゲームであり、もう少し言えば

「現代における成功への最短経路」

です。

知性と情報があり、お金を必要十分だけ得て、パッションを持って人生を謳歌する。

これが成功なのだ、と。

簡単に言えばそんなイメージなのですが、少し詳しく説明しますね。

「知は力なり (Knowledge Is Power.)」というベーコンの言葉は知っていると思いますが、今の時代は、幸か不幸か Knowledge ではなく Intelligence まで高められたものでないとなりにません。

単なる雑学博士で終わってしまう。

そして現代日本が属している資本主義社会において、Intelligence という「力」を持つものは、その力を誰かのために行使することにより、必然的に報酬としてのお金を手にすることができます。

知識社会とか知識資本主義社会とか言われて久しいですが、最近 Intelligence の差が顕著に収入の差に結びついてきているような気がします。

僕は「お金」というものの存在を否定しません。

お金は力にもなるし、助けにもなるし、安心にもなる。

「成功」と呼べる状態の定義は人それぞれかもしれませんが、通常、お金はその条件に入っているはずで

逆に、なければいつも不安と不快感の中生きることになる。

別に持っている方が偉いわけでは全くないと思いますが、持っていないよりは持っていた方がいい、という存在なのです。

そしてお金が十分にあれば、気持ちに余裕が生まれ、「生き甲斐」や「夢」とか「理想」みたいなものがはっきりと自覚されてきます（ちなみに、そういったものが見つからないと嘆いている人の多くは、厳しいようですが、その前段階の部分が満たされていない、もしくは目を背けているように僕には思われます）。

つまり、情熱的に、積極的に、充実した「自分の」人生を謳歌できるようになる。

それこそが「幸せ」であり、また成功である。

そんなことをつらつら考えながら企画したのが、今回の The Alchemy of Intelligence。

Intelligence からスタートして Happy、そして Success に結びつく、というのが今僕が考える、成功への最短経路なのです。

成功への3ステップ。

早速中身の説明にいきたいと思いますが、まず、コンテンツはざっくり言ってしまうと3種類から成ります。

1. 僕のセミナー映像 or 僕と「成功者」との対談音声ファイル一式。
2. 僕が書いたレポート。
3. その他サポートなど（「など」の意味は後述）。

の3つです。

これらが、毎月提供されます。

「毎月」というところがひとつポイントで、これから毎月、つまり定期的に、セミナーの映像や対談の音声と書き下ろしのレポートが届く、ということになります。

これは学習の効率というか、継続を考えると一気にドカンと大量にコンテンツをもらうよりはよい形態ではないかと個人的には思っております。

たとえば月に10ページのレポートと1時間のセミナー映像をもらう。

これは何の苦もなく消化できる量でしょう。

しかし1年経てば120ページのレポートと12時間のセミナーになっています。

倍になれば240ページのレポートと24時間のセミナー、3倍なら360ページと36時間です。

この量を「はいどうぞ」と一気に全部渡されて、最後まで勉強が続くか、たとえば、かなりの人が途中で投げ出してしまうと思います（逆に毎月渡されれば、30ページ読んで3時間見るくらい、ほとんどの人が消化できるでしょう）。

それはその人がだらしのないせいではなく、人間とは基本的にそうできている、というだけの話なのです（もちろん、僕だって例外ではないですよ）。

今までは、そんな理由から毎月提供型のサービスをやった方がいいんだよなと思いつつも、日々の業務に忙殺され、面倒くさいとか眩きながら足を突っ込まなかったわけですが、ここに来てようやく「やるか」という踏ん切りがつかしました。

また、それだけではありません。

今回の決断には、実はもうひとつ大きな理由があります。

スタンダードになるということ。

今回僕がやろうとしていることは、一般には「会員制ビジネス」と呼ばれるのかもしれませんが、なぜあえてそのような形態にしたのか、と言えば今説明した理由のほかにもうひとつ実は理由があります。

それは、ネットビジネス大百科を出したときと同じことです。

「会員制ビジネスの基準（スタンダード）を作りたい」

ということです。

僕の仕事のひとつは、

「スタンダードが一体何なのか、どの程度のものなのか」

を世に知らしめていくことだと勝手に思っていますが、それをやろうかな、と。

ネットビジネス大百科が出てから、情報商材と呼ばれるものの価格が全体的に下がり、クオリティがそれなりに上がってきた、という報告を多数受け取っていますが、同じようなインパクトを与えることができたらと思っています。

会員制ビジネスの世界には、まだ何となく基準がないような気がするんです。

ドンダリの背比べというか、みんなずいぶん低いところで馴れ合っているように見える。

個人的には、ですが、それがあまり会員の方たちのためになるとは思えないんですね。

周りがしょぼいから、適当にしょぼいものを出して、相場つぼい値段にして、それでそれなりに会員を集めて、終わり。

ああつまらない。

だから、

「このクオリティならこの価格、この価格でこのクオリティ」

という、一種の「モノサシ」をここらで作れたらなあ、会員制ビジネス全体のレベルが底上げされたらなあ、的な気持ちがあるわけです。

だって、たとえば同じ値段だったら、当然質が良いものを買いますよね？

ということは、ひとつ質がいいものが出てくれば、その他の商品はがんばって質を上げないとお客さんが逃げるということを意味します。

お客さんがいなくなってしまうのは倒産ですから、業者はがんばって品質を上げる努力をするでしょう。

僕の狙いは、ここなんです。

市場が底上げされていく。

あまりにダメなやつは消えていく。

ですから、今回の会員制に限らないですが、何かを選ぶとき、買うときは、いつでも僕の商品と比較してほしいんですね。

買い手の目が養われれば、自ずと市場全体のレベルが上がるのです。

本当のところを言ってしまうと、モノサシになるということ、判断の基準になるということ、いつも比較されるということ、は、ビジネス的な観点から見ればうまい戦略ではありません。

なぜなら、時代は「比較されたら負け」という段階に入ってきているからです。

「ブルーオーシャン戦略」という言葉くらいは聞いたことがあると思いますが、これはつまりマーケティングの目的が、「競争に勝つこと」から「競争のない市場を作ること」に変わってきているということを意味しています。

比較されてなおビジネス的に成功させるには、ちょうどあのマイケルジャクソンのように、周りが信じられないくらいのクオリティでなくてはいけないし、それ以外のあらゆる面で

も他を圧倒していないといけない。

普通、そんなことはできないし、リスクと負荷が高すぎてそもそも誰もやろうとは思わない。

でも僕は、この The Alchemy of Intelligence がその役割を担えることを、密かに確信しています。

「ピンチはチャンス」は本当か？

今、世の中は100年に一度の不況とか言われていますね。

僕はそうは思わないですが、ただ、いずれにしても相当厳しい時代になったということだけは確かです。

僕の周りでも、倒産、リストラ、破産、週休5日、などいろんな暗い話を聞きます。

僕の周りで聞くくらいなのだから、世間一般はもっと酷いのだろうと容易に想像ができるわけです。

そーゆー時代をうまく乗り切り、景気が上向いた時、しっかりその波に乗ることができるように、そしてまた来る不景気に翻弄されることがないように、しっかりした基礎を今のうちに、というか今だからこそ、作ってほしい。

そう思うんですね。

僕は、たまたまいろんなことが重なって現在何も不自由なく好きなことを仕事にして暮らしていける身分になっていますが、当然、そうではない人の方が圧倒的に多い。

その人たちがこの時代を乗り切るためには、多分僕よりも頑張らなくてはならないわけです。

今ように「苦しい時期」というのは、定期的にやってくるものですが、僕はある点におい

て「チャンス」だと思っています。

それは

「勉強意欲が向上し、また実際に行動に移すことができる」

という点です。

「苦しい、頑張らなきゃ」というのは誰もが思うのですが、いったい何をどう頑張ればいいのか、わかっている人はことのほか少ない。

というか、景気に左右される今までのビジネスをいくら頑張ったって、絶対うまくいくことはありません。

できるのは、事業縮小とコストカット、そして融資に絡むお願いくらいです。

それで暗い冬の時代を「耐えて」苦しい時代を「生き延びて」好景気という春をひたすら心待ちにする。

こんなことしかできないわけです。

しかし、できることが極めて限られているからこそ、普段できないことができる、ということもある。

それが、自分を進化・成長させ、時代や景気などといったものに振り回されず、安定して本当に生きたい人生を謳歌できる自分になる、理想的な活動に人生を掛けることができる自分になる、そのための「勉強」なのです。

なのに、世の中では中身がカスカスのくだらない本ばかりが出版され、新聞やテレビはドンドン低俗かつ無教養になり、かといって通信教材やスクールのようなものを探してみてもあまりに教科書的であるか内容が薄すぎる、適切な教材なんてこの世にないんじゃないか、というのが、僕が見た現状です。

だから、僕が作る意味があるのではないかなと思うのです。

具体的に・・・

で、少し具体的に中身の説明に入っていきたいと思います。

基本は僕のセミナーとレポートなので、そんなに説明が複雑になるはずはないのですが、それが案外そうでもない (笑)。

結構長くなってしまいますが、まずは少し概念的なものを説明させてください。

多少こだわりがあるので。

まず、セミナーにもレポートにも言えることですが、何か特定のテーマに沿って作られるものではありません。

その都度その都度僕がしゃべりたいことを勝手にしゃべり、書きたいことを勝手に書きます。

「なんだその適当なコンセプトは！」と思うかもしれませんが、それが今回のこだわりでありポイントなのだから、まあ諦めてください。

だから例えば、

「インターネットで儲ける方法」

みたいな、何かのテーマに沿ったものが毎月提供されるわけではないということです。

強いて言えば、

「どんな時代にも翻弄されずに自分らしく楽しく充実した人生を送るために」

がひとつのテーマになるでしょうか (自己啓発とか「ふわふわ」系ではありませんが)。

もともと、僕がしゃべりたいことというのは、いつも極めてアクチュアルというか、時事的なものが多いですから、常にその時必須であろうものを提供していくわけです。

時には、マーケティング120%の内容になることもあるでしょうし、コピーライティングについてしゃべることもあるでしょう。

同時に、急に哲学について話したり、文学の解釈について話し出すかもしれません。

そういった縦横無尽な感じで、知識と情報を提供していきます。

だからこそ、タイトルが **The Alchemy of Intelligence** なのです。

提供されるコンテンツはすべて、適切な内容を適切なタイミングで、と確信してのことですが（だからこそ毎月提供型なのですが）、人によっては、とても不憫なことにそのことに気がつかず、

「俺はアフィリエイトについて知りたいのに、何政治システムについて2時間も3時間もしゃべってんだよボケが！！」

みたいなセンスのないことを感じてしまうかもしれない。

確かにそういったある種の危険性を孕むかもしれないスタイルではあります。

まあ、そーゆー寒いニーズの人がまかり間違っても申し込まなくていいようにわざわざこんな話をしているわけですが。

そんな危険なスタイルですが、僕のメルマガやセミナーなどで僕の提供するもののクオリティを信じてくれる人の期待は、絶対に裏切らないものになると思います(あるとしたら、多少難易度が下がるかも、くらいでしょうか)。

ですから、僕のセミナーには必ず「今日は何のセミナーですか？」と会場で聞く人がいることで有名なのですが、今回も安心して内容を見ずに申し込んでもらって大丈夫です。

また、いつも申し込もうと迷うんだけど、金額的な問題で申し込めない、という場合も、内容は心配しなくて大丈夫です。

セミナーと対談について。

共通のコンセプトの説明が終わったところで、セミナーと対談の話を見せてください。

セミナーと対談は毎月一回交互に行い、記録し、その映像・使った資料・音声ファイルを配布します（つまり、1年間で6つずつということです）。

セミナーの内容は先ほど説明したとおり僕がしゃべりたいこと（=その時必須の知識）ですが、よりたくさんの方が理解できるように、いつもよりは多少難易度や抽象度は下げようかなと思っております。

と言っても限界以上に下げたらバカ量産スクールになってしまうのでそれは無理ですが、特に **Consulting Master Class** で扱っているようなきわめて高度な内容は、よっぽど必要な時以外意識的に避ける予定です。

いつも僕がやってるセミナーとの違いがあるとすれば、その辺だけですね。

あとは、完全にいつも通りのセミナーです。

「勉強になって、役に立って、お金になって、なおかつ楽しい」

がコンセプトです。

で、次に対談について少し。

対談というのは、僕は一長一短だと思っています。

まず良い面ですが、いろんな人の考え方、知識、体験などに触れることができるという意味で、非常に貴重な体験です。

限られた人生の中で、実際にできることは本当に少ない。

自分ができなかった、歩くことができなかった人生を歩いてきた人の話を聞かせてもらう、というのは、これ以上ない貴重な体験であることは間違いないと思います。

一方よくない面というのは、僕がしゃべる時間が短くなる、ということ（笑）。

何か特定のテーマに沿って情報を提供するだけなら、僕が一人で喋っていた方がいいような気がしているので。

でも今回、それはセミナーとレポートで達成されています。

であれば、他の結果を出している人や貴重な体験をしてきている人との対談を設けて、いろんな人の話を聞くのも、とても有意義であろう、と。

今回は「成功者」の人たちと対談することになっていますが、何をもって「成功」と言っているのか、にも注目して聞いてください。

決して、「毎月100万円アフィリで稼いでいます！」みたいな基準では選びませんので。

ただ、ご存じの通り僕は友達や知り合いが少ない。

自分でも考えたくないくらい少ないのが現状です。

なので、毎回絶対違う人、という感じにはならないかもしれません。

毎回テーマを決めて、それに最もふさわしいであろう人をピックアップするつもりなのですが、もしかしたら「再登場」みたいなことも、あるかな、と。

別に、だからと言って価値が落ちるわけではまったくないのですが、その辺だけ、あらかじめご理解くださいませ。

レポートについて。

次にレポートの説明をします。

これは、ページ数も内容も月によってバラバラというある意味で新しいスタイルのものを想定していますが、それでも一応大きな枠組みは決めています。

1. Power of Intelligence.
2. Beyond Excellence.
3. Create “Common Sense.”

という3つの大きな枠組みの中で、つまり3つの大きな項目に分けて毎月書いていこうかな、と。

もちろん、1から10まで僕が書きますので、たとえばボリュームを出すために他の誰かに半分以上書かせるとか、そういったことはありません。

今言ったとおり、どれが何ページになる、とかは決めてないですが。

ある月は1が20ページ、2が3ページ、3が5ページかもしれないし、またある月はすべてが8ページかもしれない。

確かにバランスというか、見栄えはあまり良くないかもしれませんが、その手の形式的なものに縛られて肝心の内容を制限するようなことになってしまっただけは本末転倒なのでそこは我慢していただければ嬉しいです。

んで。

各項目の詳細を少し。

1の Power of Intelligence は「知識・情報の力」という程度の意味ですが、要するに「今月のお勉強コーナー」です。

僕が必要だと思う知識や情報などを、縦横無尽に書き連ねていきます。

ビジネスのこと、政治のこと、歴史のこと、心理学のこと、哲学のこと、文学のこと、知っておくべき裏社会のこと、とにかくあらゆることを書くつもりです。

学習者の頭の中でひとつでも“化学反応”が起これば、僕の狙いは成功かな、と。

ただ、ここでひとつ注目してほしいのは、僕は **Intelligence** という単語を単に「知識」とか「知性」といった意味合いで使っているわけではない、ということです。

積極的に、「情報」という意味も含めています。

情報鎖国の日本の中だけでは、とても公正な判断はできないし、当然時代の先も読めない。

日本は悲しいかな、現在においてもなお欧米追従である現実があるわけで、であれば少なくとも英語のソースにはアクセスできないと今後話にならないと思いませんか？

それも、信頼のおけるソースにアクセスできなければ、単に振り回され、情報の海で溺死してしまう。

例えば、非常にわかりやすい例をひとつ挙げますが、日本で言う公取委みたいな存在であるアメリカの FTC（連邦取引委員会）。

ここが今年に入って testimoniアルの使い方・規制に関して非常に重大な見解を公表したのですが、知っていますでしょうか。

日本は、この手の法に関しては遅くとも2～3年以内には右へ倣う傾向にあります。

それを前もって知って準備万端で臨むのか、知らないで寝耳に水となるのか。

これは、時代を読むにあたり、つまり時代などに振り回されずに人生を謳歌するにあたり、とても大きな差になるでしょう。

だから、僕は **Intelligence** という言葉には、知識や知性と同じくらい、情報という意味を込めて使っているのです。

次に2の **Beyond Excellence** ですが、これは日本語に直しにくいですね・・・たとえば「最高のさらに向こう側へ」とかになるのでしょうか。

具体的に何が書かれているか、と言えば、説教です（笑）。

よく表現すれば、マインドセット。

楽しい人生を送るためには3度の飯より重要な心構え。

こいつについて書いていくつもりです。

どうやって木坂が物事に対峙しているか、不安や恐怖と付き合っているか、困難に直面した時どうしているか、心の持ち方を中心にお話ししていきます。

「情報は 生かすも殺すも お前次第 (字余り)」

ということで、どのように情報を処理し、知識を駆使するか、どんなマインドでいればいいのか、といった話がメインになっていくと思います。

さて、いよいよ最後、3ですが、これは「“常識”を創造する」的な意味になります。

僕の視点での書評やニュース解説、政治に対するコメントや国際関係に対するコメントなど、とにかく「このレポートを読んでいるなら常識にしておいてよね」という事柄について制限を設けることなく書きます。

そしてその常識は、おそらく世間一般の常識とは異なることが多いと思います（だからカッコつきで“Common Sense”なのです）。

僕はほとんど書評とかニュースのコメントみたいな、他人のものに対するコメントをしないのですが、「ものの見方・世界の見方」というものも当然重要ですから、今回はひとつのコーナーを設けて行うことにしました。

当然、国内のものに限りません。

必要なら海外の書籍やいわゆる情報商材、あるいはイベントやニュースなど、その辺の制限もなく取り上げようかな、と。

先ほども言いましたが、日本はいまだに情報鎖国ですし、ビジネスの世界もアカデミックな世界も政治の世界も法律の世界も結局は「翻訳文化」です。

よく言われるように「10年遅れた欧米」という言葉は、世間的にはあまりに強調されて

いる面があるとはいえ、一面では妥当しています。

であれば、リアルタイムで世界を見ることは何よりも重要ではないだろうか、と。

毎月僕なりの視点で世界の本やニュースを解釈・理解することによって、いかに世間がおかしなことになっているか、極めて鮮明に把握できるようになると思います。

同じニュースや本に触れていても、なぜ人によって理解度や行動や発見に大きな大きな差が出てしまうのか。

もっと言えば、

木坂はどう世界を見て、何を得て、何を考え、どのような決断をしているのか。

この辺がわかってもらえるいいなあ、というコーナーです。

まあ正直、

「正直何百冊も本を読むのは面倒・・・」

みたいな場合も、僕が代わりに大量に読んで「本当に必要な本」だけを解説するんで、このコーナーを読めばいいのではないかなと思ったりもしています。

苦手なことをするときの気持ちは、何となく僕にも理解できますので（笑）。

また、気がついたかもしれませんが、この構成は冒頭に挙げた

“Intelligence-Power-Money-Passion-Happy-Success”

という僕の連想ゲームに対応しています。

つまり、この3つの構成を毎月通ることにより、Intelligence から Happy、そして Success に至ることができるのです。

第1回目、そして今後の具体的内容は・・・

全体としては、以上のようなコンテンツを考えています。

ちなみに第一回目（8月末もしくは9月上旬公開予定）は、

セミナー：ブランドの3段階～ブランディングのラストピース～

レポート：FBIに学ぶブランディングの極意

「進化」とは何か、そしてそれはどうやって起こすのか
哲学は“単なる言葉遊び”か？

対談：延べ600社の企業をクライアントに持ち、2500人以上の経営者と
会ってきた木坂の顧問税理士に聞く、成功する起業家と失敗する起業家
の決定的違い

を予定しております。

初回は、記念月ということで対談もセミナーも両方付いています（それ以降は隔月で交互に届きます）。

詳しい内容や今後の予定などはまた申し込んでいただいた方に直接連絡しますが、もう話したいこと書きたいことは腐るほどあるんですよ。

例えば

- ・“緊急性”を効果的に（胡散臭くなく）演出する3段階
- ・一発屋で終わる人、終わらない人（永続的に支持される公式）
- ・説得力のある文章を書く、ある簡単な秘訣
- ・言ってることを信じてもらう、ある簡単な方法
- ・一生忘れられないような、刺さる文章を書くコツ
- ・売れるアイディアの出し方

- ・業界で一番になる最短経路
- ・時代を読む方法
- ・既存の商品やサービスに付加価値をつける方法
- ・セールスレターを読んでもらうのに効果的な20の仕掛け
- ・誰もが聞き入るプレゼンテーションの仕方
- ・嫌な顧客を遠ざける“正しい”方法
- ・欧米では第二段階に入った会員制ビジネスの次なる潮流
- ・「バカの壁」を突破する方法
- ・長いレターvs短いレター
- ・ショッピング型サイトで売り上げを増やすポイント
- ・日本の投票率の低さとビジネスの意外な関係
- ・ビジネスで行き詰ったときにチェックすべき5つのエリア
- ・1冊5分で読み終わる新しい“飛ばし読み”の方法
- ・人が金額を気にしなくなる時（定価の数倍でも売れるとき）
- ・200万円の間ドックに予約が相次ぐ本当の理由
- ・高級ブランドが開催するVIP限定パーティから学べるビジネスの基本
- ・好景気が来るときの指標、不景気が来るときの指標
- ・海外のネットビジネス界でいま最も効果があるとされているPLF戦略の全貌
- ・売上を直接的に上げる本当の価格戦略とは
- ・「必要最低限の反応を出す」セールスレターを2時間程度で書く方法
- ・「利益」の真の構造

などなど・・・。

少し考えただけでも、まだまだあります。

また、特に学問的な言葉を含む内容などは意図的にここに書いていません。

だって、例えば「ハイデガーの解釈学的循環に見る顧客との理想的関係」とか書かれても、困ってしまうと思うんで（実際はそんなに難しい話ではないとは言え）。

実際には、必要ならばこのようなアカデミックな内容も取り入れつつ、しかし抽象的になりすぎないように、現実をしっかり根ざした感じでいろんなこととお話しして書いていきたいなと思っております。

また、日々話したいことは増えているので、たぶん、無限にあるんだと思います。

それをドンドンとアウトプットして提供していきこうじゃないか、というのが今回の主旨です。

もっとも、どれをいつ話すかは僕のさじ加減次第なので「次はこれが聞きたいんですけど」とか言われてもあまり考慮はしないのですが、そしてこれらのテーマが果たしてレポートになるのかセミナーになるのか、それとも対談になるのか、どれになるかはわからないのですが、とりあえず、

「Intelligence も Money も Passion も、全てしっかり満たすために用意したコンテンツになります」

とだけは言えるかな、と。

高校生の小遣いは月平均約 6 0 0 0 円 . . .

さて、内容の説明も終わったところで、そろそろ参加費の話をしたと思います。

まあ、僕が「高校生でも参加できる」とわざわざ言うくらいですから、本当にできます。

上に書いてあるよう、ちゃんと平均も調べた上で言っています (笑)。

今回、満を持して日の目を見る *The Alchemy of Intelligence* ですが、3つのグレードを用意することにしたのでその説明をさせてください。

1. Junior Alchemist Course. (1 0 0 0 人限定)

これが最もベーシックなコースになります。

コンテンツとしては

- ・セミナー映像一式 or 対談音声（隔月で交互に・それぞれ約2時間分）
- ・レポート（約20ページ〜）
- ・メンバーページへのアクセス権

になります。

これらが毎月提供されますが、提供の仕方はすべてオンライン上でのダウンロードになります。

つまり、何か配送されてくるわけではなく、すべてメンバーページでダウンロードしていただくことになる、ということです。

参加費は、月々3980円（税込み）+初回のみ入会金15000円になります。

ゼロは少なくないです。

1日130円、1ヶ月で3980円。

これだけのものが提供されて、これしか、毎月かかりません。

※ただし、今回の先行募集でお申し込みの場合は月極めではなく半年分 or 1年分の一括払い（銀行振込みのみ対応）になります。3980円×12ヶ月+15000円=62760円ですが、今回は入会金+2ヶ月分無料、の39800円で申し込んでいただけます。また、半年の場合は2万円です。

基本コースはこれになります。

例えばセミナーにライブで参加してもらったり僕に直接アドバイスをもらったりすることはできませんが、データは全てもらえるし、何より破格です。

「データさえあればいい」「そもそも遠方すぎてライブには参加できないからとにかく安く済ませたい」などの場合にうってつけかと思います。

特に今回先行で申し込みをしてもらった場合、月割計算してみれば、なんと1ヶ月約3300円。

1日100円程度。

大体の場合、携帯の基本料より安いのではないのでしょうか。

完全に高校生でも払える金額だと思います。

なので、まあ迷ったりしている場合は、とりあえずこのコースなんじゃないかな、と。

普通の20分の1の価格でセミナーを受講できるだけでも、またとない機会だと思いますので。

2. Senior Alchemist Course. (300人限定)

これは、上記のベーシックコースのコンテンツが、すべてハードコピーになってご指定の住所（海外対応）まで配送されるコースになります。

セミナーのDVDもしくは対談のCDが1枚、レポート冊子が1冊、という感じです（ただし、セミナーで使った資料だけは、ダウンロードとさせていただきます。僕の場合直前まで資料を変更するので、印刷が間に合わない可能性大です・・・）。

また、セミナーにはライブで参加していただくことができます（希望者多数の場合は抽選）。

これは、わかる人にはわかるのですが、単にビデオを見ているのとは非常に大きい違いがあります。

そして、もうひとつ目玉となるコンテンツがあるのですが、それは

山口貴志氏による文章添削権（月1回）

です。

山口さんは、僕が ICC を和佐君とやっていたころからお世話になっているプロのライターの方で、非常に力があります。

僕が、こと日本語の文章に関しては業界で唯一信頼している人物と言っても過言ではない人です。

また、文章に関する実力・造詣の深さだけでなく、文章の添削も極めて高いレベルで行うことができます。

「高いレベルで」というのは、いたずらに高度な解説をしたりすることなく、相手に合わせた形で非常に懇切丁寧な解説をしてくれる、ということです。

実際に受けたことがある人はよくわかると思います。

添削してもらう文章より、山口さんが赤い文字で書いてくれたコメントの方が普通長いのですから（笑）。

今回も山口さんをお願いして、忙しい中添削の協力をしていただくことになりました。

セールスライターでもいいですし、メルマガでもいい。

出版予定がある人はその相談を試してみれば見違えるでしょう。

単に文章の練習中で見てほしい、という場合も、これ以上ない先生になってくれるはずで

す。

日本語の文章に関してであれば、基本的にはどんな添削を依頼していただいても構いません。

もちろん、あくまでも「添削」ですから、たとえば「200ページのレポートを代わりに書いてください」みたいなことを言った人は直ちに除籍処分にはしますが、常識の範囲で、おおよそのことには対応してくれると思います。

この、

- ・ **Junior Alchemist Course** のハードコピー版
- ・ メンバーページへのアクセス権
- ・ セミナーのライブ参加権 (希望者多数の場合は抽選)
- ・ 山口氏による文章添削権 (月 1 回)

というコンテンツが提供される Senior Alchemist Course。

参加費は月々 9 7 0 0 円 + 初回のみ入会金 1 5 0 0 0 円になります。

※ただし、今回の先行募集でお申し込みの場合は月極めではなく半年分 or 1 年分の一括払い (銀行振込みのみ対応) になります。9 7 0 0 円 × 1 2 ヶ月 + 1 5 0 0 0 円 = 1 3 1 4 0 0 円ですが、今回は入会金 + 二ヶ月分無料、の 9 7 0 0 0 円で申し込んでいただけます。また、半年の場合は 5 万円です。

これは、イカしたパッケージでハードコピーがほしい場合。

また、僕のライブセミナーのすごさを知ってる場合。

あるいはすでに文章をたくさん書く立場にあって、プロの客観的なアドバイスがほしい場合。

そんな場合には迷わずこれ、と言えるもコースになります。

僕のセミナーは基本的に 3 時間くらいで 5 万円から、という価格設定になっていて、多少ハードルが高かったかと思うのですが、今回そのハードルをガツッと下げました。

また、セールスレターやメルマガの添削なんてできる人はほぼ皆無ですし、外注で制作からお願いした場合、大して反応も取れないレターに 1 0 0 万円近く請求されることも普通です (僕の場合はゼロがもうひとつ増えてもお断りしています)。

なので、そのようなニーズがある場合は、このコースが最高に適している略して最適であると言えるでしょう。

逆に、データだけでいい、ライブなんてどうせ大して変わらないでしょ、と信じて疑わない場合は、Junior コースで全く十分です。

3. Master Alchemist Course. (30人限定)

木坂が誇る The Alchemy of Intelligence における最高位のコースがこれになります。

当然、Senior Alchemist Course の内容はすべて含んだ上で、以下のコンテンツがプラスされることとなります。

まずは

セミナーのライブ参加権 (確約)

です。

参加希望と言っていただければ、確実に席を用意します。

次が、

山口氏による文章添削権 (回数無制限)

ですが、これも説明の必要はないですね。

何度でもどうぞ、気が済むまでどうぞ、という話です。

次に

木坂へのメール質問権 (回数無制限)

です。

これも特に説明はいらないかと思うのですが、僕に直接、質問をすることができます (注: このコースに申し込むぐらいの人なので、あまりくだらない質問は来ないと思いますが、万が一来た場合は、警告の上、改善されなければ除籍処分です。あしからず)。

質問内容は、ビジネスでも人生相談でもカント哲学でも何でもいいです。

答えられることは答えますし、答えられないことは答えられそうな人に聞いて回答を送ります（どうしても答えられない質問に関しては、その旨説明させていただきます）。

まだあります。

木坂の資料室で勉強会（年に3回、各3～4時間程度）

です。

都内某所、僕の書籍や海外から買い漁った情報商材などの山が保管してある資料室へ招待します。

「木坂はここで作られた」とも言うべき、また実際に Alchemy が日々起こっている部屋です。

そこにある資料を金額に換算したら、正確に計算したわけではありませんが、1億円まではいかないにせよ、限りなくそれに近いだけあるのではないかと思います。

いや、実際見てもらえればわかりますが、誇張ではなく本当にそれくらいあります。

よく、恥ずかしげもなく「自己投資に年間100万円以上使っています！」と言っている人などがいますが、この部屋に来れば、そしてそこで僕と話せば、次元の違い、というものを体感することになるでしょう。

まあ、資料を金額に換算する意味は特にはないのですが、1億円分の本や資料って単純に響きが面白いかなと思ってしてみました（笑）。

その部屋で、希望なら勉強会を開催します。

「会」と言っても、特に希望がない限りは僕と1対1です（希望があれば、複数も可）。

半日丸々、逃げ場なし。

資料を見てもよし、僕と話し込んでもよし、コンサル的に相談を持って来てもよし。

その時間はどう使ってもらっても構いません。

お互いに有意義な時間を過ごせればと思います。

そして最後が

一泊二日の合宿（年1～2回・多少自己負担あり）

です。

合宿のテーマや目的は決めていないですが、まあ Master Alchemist のみなさんが交流し、新しいビジネスが生まれたり更なる進化が促されたり、おいしいものを食べたり、バカな話にいそしんだり、と何でもできるかなーと思っております。

これは参加者のみに連絡しますが、もし自己負担額が大きくても大丈夫だ、ということであれば、日本の長者番付上位10人が軒並み隠れ家になっている旅館など、木坂が自信を持ってお勧めできる場所での合宿もありえます。

基本的には自己負担を極力少なく、という方向でいこうとは思っていますが、その辺は後日要相談、ということでお願ひします。

これら

- ・ **Junior Alchemist Course** のハードコピー版
- ・ メンバーページへのアクセス権
- ・ セミナーのライブ参加権（確約）
- ・ 山口氏による文章添削権（回数無制限）
- ・ 木坂へのメール質問権（回数無制限）
- ・ 木坂の資料室で勉強会（年に3回、各3～4時間程度）
- ・ 一泊二日の合宿（年1～2回・多少自己負担あり）

が提供されるのが Master Alchemist Course になります。

参加費は月々79700円+入会金30000円になります。

※ただし、今回の先行募集でお申し込みの場合は月極めではなく半年分 or 1年分の一括払い（銀行振込みのみ対応）になります。79700円×12ヶ月+30000円=986400円ですが、今回は入会金+二ヶ月分無料、の79万7千円で申し込んでいただけます。また、半年の場合は40万円です。

これはまあお金に余裕がある場合か、直接僕のアドバイスを受けたい場合か、受動的な勉強ではなくもうとにかく上を目指したい場合などに限り、申し込みを検討すればいいコースだと思います。

一目見てわかる通り、相当意識が高い人対象です。

その気持ちがある場合のみ、参加をご検討くださいませ。

また、勘違いしないでほしいのは、決してよくある「木坂認定〇〇」とかではないということです。

僕は誰かを認定するほど偉いわけでも賢いわけでもありませんから、そういったおこがましいことは行いません。

例えば「木坂のところで Master コースを受講している」と外で言うことは一向に構いませんが、それはそれ以上でもそれ以下でもなく、別に僕に実力を認められているとか、僕が仕事を斡旋するとか、そういった意味合いは全く含みませんので、あらかじめご了承くださいね。

それから、このコースに限り受講に当たっては簡単な試験を受けていただきます（申込者に個別に連絡）。

その結果、受講をお断りすることもありますので、あらかじめご了承ください（受講不可の理由などはお伝えできません）。

コース概要をまとめます。

最もベーシックな Junior Alchemist Course。

基本的なコンテンツはこのコースですべてカバーできますし、何より破格なのが特徴です。

次に、ライブや添削といったものの価値を重く見る場合、また単にイカしたデザインのパッケージを本棚に陳列してニヤニヤしたい場合、などにうってつけの Senior Alchemist Course。

コストパフォーマンスは、もっともいいかなと個人的には思っているコースです。

最後に、とにかく誰よりも上にいきたい、自分の限界なんてクソくらえだ！というラストサムライにおくる Master Alchemist Course。

こういった構成になっております。

一般向けのコストパフォーマンスという意味では Senior かなという感じですが、ある特定の人にとっては Master ほど破格なコースもないと思います。

自分に必要だと思うコースを選び、申し込んでくださいませ。

まあ、見ての通りメインコンテンツとなるセミナー、レポート、対談は、データかハードコピーか、という点を除けばすべて共通です。

なので、とにかく情報だけでいい、安く済ませたい、本当に高校生です、などの場合は Junior Alchemist Course で十分だと思います。

もし途中で何か思うところあってアップグレードしたくなったら、空きがある限りアップできますし。

なので、まあ迷ってるくらいなら、気軽に Junior なんじゃないの、ってことです (笑)。

さて・・・

今回、僕の企画ではもはやある程度名物になった感のある“特典”をまたいくつか考えていますので、その紹介をば。

毎度毎度あまりに多すぎてもアレなのですが、僕の場合特典は補足教材という位置づけなので、まあ我慢して受け取ってください。

特典1：教材不定期配布&リクエスト権

まずひとつ目はこのようなものを用意しました。

僕は結構思いつきで何かしらのコンテンツを作るのですが、その不定期に作った教材をメンバーページで提供していきます。

特筆すべきは、僕が思いつくかどうかに関係なく、ほしい教材のテーマをリクエストできてしまうという点です。

何か作ってほしいものがあればメールで送っていただければと思います。

ただ、当たり前ですが僕も何でも作れるわけじゃありませんので、希望が通らなかったからと言って文句は言わないようお願いいたします。

特典2：海外のレター解説ビデオ集

少し古いのですが（1年くらい前？）、海外で爆発的に売れたレター、話題になったレターを僕が解説しているビデオがあります。

それをあげます。

「話題になった」というのは「問題になった」「炎上した」的なものも含まれますので、そ

の辺が単なる「成功事例解説」とは一線を画すところかもしれないですね。

1日でも何億円、何十億円も売るレターというのはどういうものなのか、その世界は感じることができると思います（もちろん僕の解説は日本語ですので、英語ができなくても何ら問題ありません）。

全部で4本、合計1時間半くらいの内容です。

また、希望があればさらに増やすことも検討していますので、気軽にリクエストなどしてくださいませ。

特典3：木坂の新教材“Philosophia”（年末公開予定）配布

これは久しぶりの、おそらく大百科・NBA以来の、本格的ビジネス用教材になります。

しかも今回は、初めて、僕が1から10まで一人で作るものです。

中身は、4つのモジュールから成ります。

0. Implanting（木坂の脳みそをダウンロードする）

1. Evolution（自らを進化させる）

2. Revolution（自分と外界に革命を起こす）

3. Creation（未来と世界を創造する）

一見ビジネス用の教材っぽくないと感じるかもしれませんが、ご安心ください。

マーケティングの話やコピーライティングの話、マインドの話、企画の話から顧客フォローの話からすべて行います。

ただ、切り口が「あまり見ない形」というだけです（逆に、だからこそ他の教材はもう「つまらない」「古い」と感じてしまうんですよ）。

ざっくりした構想はもうあるのですが、音声、文字、ビデオなど可能な限りあらゆるメディアを使って作ろうと思っていますので、最終的には結構なボリュームになるんじゃないかと思っています。

大百科から2年。

NBA から1年。

今の木坂が純粋なビジネス用教材を作るとしたらこうなる、というものをお見せします。

特典4：Autobiography～自伝～（来年初旬頃公開予定）

そのまんまです。

僕が、自分自身を振り返って、いろいろ書きます。

幼いころの経験、どんなことをして育ってきたのか、何を食べ、何を読み、何を見て、何を考え、こーゆー生き物が出来上がったのか。

今まで、自分がそこまで変わった人生を歩んできたとは思っていなかったのもそーゆーことはこれと言って語らなかったのですが、興味がある人が多いようなので、その辺をメインに語ってみようかな、と。

時として、親へのインタビューなんかも織り交ぜながら（笑）。

ただ、今でも僕はごくふつーの人生を歩んできたと思っていますので、どれだけ「変態的な」ものになるかは全然わかりません。

僕からして普通でも、一般的には変態なのかもしれませんし、その逆もあるかもしれない。

その辺は、乞うご期待、ということでお願いします。

特典5：毎月のレポートの朗読音声

僕は基本的に朗読というコンテンツがあまり好きではありません。

そんなん読めばいいじゃない、とってしまうからです。

が、海外のオーディオブックの市場の大きさを見てわかるとおり、「耳から学習する人」というのは少なからずいます。

実際僕のセミナーに来てくれている人の中にも、自分で本を朗読して録音し、それを聞いて勉強しているという人が何人かいました。

その人たち曰く、耳から入った情報はすごく脳に定着する、と。

そんな人も結構な数いるということがわかったので、レポートの朗読音声も毎月つけます（メンバーページでのダウンロードになります）。

別に耳からじゃなくても学習できる、という場合でも、例えば移動中などに聞いて勉強するなど有効に使っていただけたらと思いますし。

ただ、朗読は僕自身が自分で行うので、プロの声優じゃなきゃ満足できないぜ、という場合は気にしないで捨ててください。

その代わり、僕が強調したい点や書いたニュアンスなどが最大限伝わるように抑揚をつけて朗読する予定なので、その点は期待していただいて大丈夫です。

特典6：対談音声のポイントシート

対談音声は、予定では毎回1～2時間になる予定です。

結構長丁場になると思うし、対談なので話があっちこっち飛ぶというのも醍醐味のひとつだと思うのですが、それは逆に言えばノートを取るのが難しい、ということでもあります。

ですので、一応僕が作った「ポイントはどこなんじゃないの」という簡単なレジюмеのよ
うなものを付けますので、それを助けとしながら聞いてみてください。

僕自身が対談をしながらとったノートを元にするので、僕の話の聞き方・着眼点という意
味でも参考になるかもしれません。

最終的にはそんなレジюмеに頼らず完全に自分オリジナルのノートを作れるようになって
ほしいですが、最初は仕方ないかなとも思いますのでこのようなものを用意することにし
ます。

特典 7 : 直接質問権&回答音声（もしくはビデオ）配布

次がこれです。

セミナーを受講して、レポートを読んで、対談を聞いて、何か質問や疑問が出たらメール
で僕に送ってください。

興味深いものに関しては、まとめて回答し、それをビデオもしくは音声もしくはレポート
にて記録し、メンバーページの方で公開します（「興味深くないもの」に関しては申し訳な
いですが、回答なしということでご了承ください）。

ある程度の量がたまったら公開することにしようかと思っているので、どんなに頻繁にア
ップしても月一回、たぶんそんなにはないと思いますが、不定期に公開いたします。

もちろん Master Alchemist のコースを受講している場合は個別に返信をしますので、この
ボーナスはあまり関係ないように思うかもしれませんが、それでも他の人たちの疑問やそ
れに対する僕の回答などから学ぶことはとても大きいと思います。

また、申し訳ないですが Junior Alchemist コースを受講される場合は、回答ファイルを受
け取るのみ、つまり質問は送れないということでご了承ください。

人数的な関係で、そこまでは対応できないと思うので。

特典 8 : NBA 無料配布 (Master Course 受講者のみ対象)

例によって、希望者には NBA を配布します。

僕にはできる、鬼のダンピング。

僕にしかできない、鬼のダンピング。

その権限 (?) を存分に発揮し、希望者には無料で配布いたします。

ただし、この特典に関しては Master Alchemist Course の受講が決まった方に限らせていただきますので、あらかじめご了承ください。

特典は以上、8つです。

あとは、特典の1番でも説明したとおり、思いつき次第作って提供します (リクエストも随時受付中)。

これらの特典は、8以外は全コース共通のもので、半年でも1年でも差し上げますので、どうぞ安心してコースを選んでくださいませ。

(※お申し込みは[こちら](#)からできます。)

最後に。

「お買い物」というのは、いつも自分で選択すべきものです。

店員にすごいテンションで勧められてついつい買ってしまった服などは、ほぼ着ないでしょう。

ですから、金額にかかわらず自分自身で「これがほしい！」って思えるものだけを買うのが、正しい買い物というものなのです。

それは、実は販売者側にとっても同じ事。

着ない服を「買わされた」店には、もう足を運ぼうとは思わないですからね。

うまいことを言って、何とか魅力的に見せて、数々のテクニックを駆使して不要なものを買わせることは可能だと思いますが、それをやってしまっただけでは、すぐに見向きもされなくなってしまうのです。

今回の **The Alchemy of Intelligence** ですが、いつもと同じく、僕が用意できる、提供できる最高のものを提供する場を企画したつもりです。

それでいて価格をここまで抑えました。

販売者側にできるのは、究極的にはこれだけなのですが、それを精一杯やった自信があります。

だから本音としては、今まで価格面で躊躇していた人、悩んでいた人、そんな人たち全員に、もっと言えば日本語が分かる人全員に申し込んでほしいと思っています。

もちろん現実には僕の体はひとつですので人数制限は設けていますが、気持ちの上で、これは本気で言っています。

1日1本、ペットボトルや缶コーヒー飲むのを我慢すれば十分おつりがくる価格です。

友達と飲みに行くのを月一回でいいから我慢すれば、十分おつりがくる価格です。

一冊1500円の、カラフルな中身ゼロ（時としてマイナス）の本3冊買うより安い価格です。

日経新聞という最高に役に立たない新聞を1ヵ月取るのよりも役に立ってなおかつ安いのです（ちなみに日経が役に立たないのは日経のせいもありますが、どちらかと言えば読める人間の脳みそ、つまり読者の **Intelligence** に本当の原因が求められます）。

参加人数の制限以外は、ハードルはかつてないほど低く、また他の人と比べても低いと思います。

今まで、たくさんの人の目に触れる教材は、メルマガ以外なかったわけですが、これでかなり開かれたらいいなあ、と。

以前メルマガでもお話ししましたが、僕のセミナーは、ある意味で高額にもかかわらず、死ぬほどバイトを頑張って毎回茨城県から鈍行列車できてくれる 17 歳の方がいました。

14 歳のときから僕のファンで、高校生になったら絶対セミナーに行きたいと思ってくれていたようなんですね。

みんなが持つてるゲームなどは我慢し、必死に貯めたバイト代を僕のセミナーに使ってくれた。

それを聞いて本当に嬉しかったし、同時もっとアクセスしやすい価格帯の教材が必要だなという気持ちも芽生えました。

そうすれば、余ったお金で余分な、でも彼にとってとても重要な「経験」ができると思ったから。

だから、本当に高校生でも毎月払える金額にしたかったというのがあります。

それでいて、僕が納得できる質と量のコンテンツを提供できれば……。

それが、今実現しようとしています。

もし、参加することを決めていただけた場合には、ぜひ、僕がこの *The Alchemy of Intelligence* の中で言ってることを、とにかくいろんな人が言っていることと比較してほしいと思います。

ネット起業家でも有名なコンサルでも著名な経営者でも学者でも誰でも構いません。

それが「基準」を自称する者の務めだと思しますし、それに耐えうるものは余裕で提供できると考えております。

それに、誰が正しくて、何が正しくて、本当に価値あることを言ってるのは誰なのか、時代が進めば自ずと、明らかになるでしょう。

ですから、今のうちからしっかり比較しておいてほしいと思います。

確かに、僕のコンテンツは一見魅力的な「即金」とは無縁ですが、間違いなく、

「ああ、あの時の判断は間違っていなかったんだな」

って、時が進むにつれて実感するはずですから。

それでは、また教材の中でお会いしましょう。

楽しみにしています。

ありがとうございました！

木坂

追伸：特商法の表記は[こちら](#)でございます。

また、プライバシーポリシーは[こちら](#)になります。

両方ともデザインは古い商品の使い回しですが、そこへのツッコミはご容赦くださいませ（苦笑）。

追伸2：お申し込みは[こちら](#)からできます。